

福井市自立支援協議会 こども部会 課題提起シート

課題提起者名 (所属) こども発達支援センターのびろ

課 題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>障がいの有無にかかわらず、こどもが自分に合った放課後の過ごし方を選択できる環境（地域）が必要である。</p>
概要 及び 現状	<p>【概要】</p> <p>こどもに関わる大人や支援者は各々の業務や役割を通じて支援しているが、「うちではできない」「あちらに行ってほしい」等と、どこかに委ねる形での解決になる場合がある。</p> <p>【現状】</p> <p>発達の気がかりな児童を受け入れている園や学校では、保護者と話し合いを行い、試行錯誤しながら支援をしている。また、スポーツ少年団に入っている気がかりな児童も増えてきている。</p> <p>その一方で、環境や人材が限られている児童クラブでは支援が難しいという話を聞いた保護者は、その不安から放課後等デイサービスを選択するケースもある。また、児童クラブか放課後等デイサービスの2択しかないという認識の保護者も多い。</p>
方針 改善 の	<p>・地域の支援者が、自分たちにできることをこども本人・保護者・関係者と一緒に考える地域（風土）を増やす。</p>
具体的 な取組 内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの関係部署と福祉が連携し、こどもの放課後の過ごし方について協議を進める。 ・学校と児童クラブの情報共有が進むよう、保護者を交えた会議に児童クラブも参加できるなど、連携が進むとよい。児童クラブ以外の児童の姿や学校での取り組みを知り、児童クラブでの支援を考える視点を広げる必要がある。 ・地域の支援者が支援に困った時に他機関に相談できる関係や体制を作る。 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携に悩んでいる声や気がかりな児童の情報が入ってこない、ケース会議に参加したいという児童クラブの意見を取り入れることが大事なため。 ・児童クラブが支援の中で自信がない、うまくいかないという場合に、児童クラブを支える体制があると、安心して取り組むことができるため。
期待 される 効果	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの関係部署とこどもの放課後の過ごし方を考えていくことで、選択肢が広がる。 ・児童クラブか放課後等デイサービスの2択しかないという認識も解消され、放課後等デイサービスを必要とする児童が適切にサービスを利用できるようになる。